

2009年6月8日

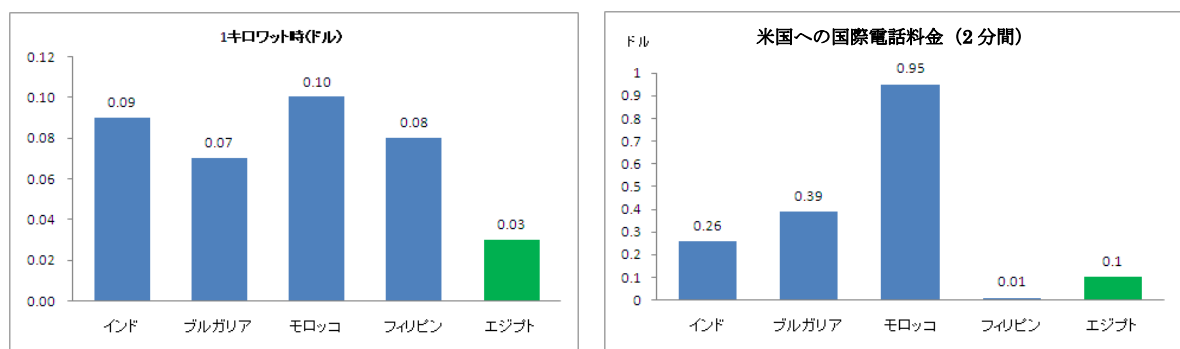
アウトソーシング・ランキング エジプトが6位に躍進

未曾有の世界的不況の下で、アウトソーシング市場に変調が生じている。米大手コンサルティング会社 AT カーニーが先月発表した最新のアウトソーシング・ランキング (Global Services Location Index) では、16位後退したチェコなど東欧諸国の苦境が鮮明となった一方、6位のエジプト (前回：13位) を筆頭に中東・北アフリカ諸国の健闘が目立つ。同ランキングの発表が始まった04年では、チェコは4位、エジプトはランク外だった。

中東諸国の競争力が高まった背景には、英語を母国語としない欧州企業のアウトソーシング投資への増加など、需要サイドの変化があげられる。近年の対ドル相場の上昇を一因とする中東諸国の労働コスト高騰を受け、欧州企業を中心に中東・北アフリカ諸国に業務を委託する動きが加速している。

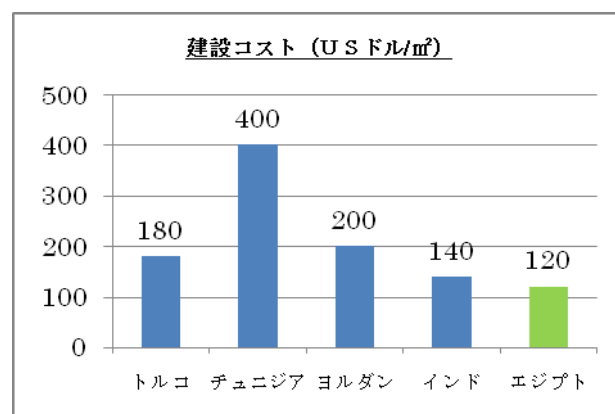
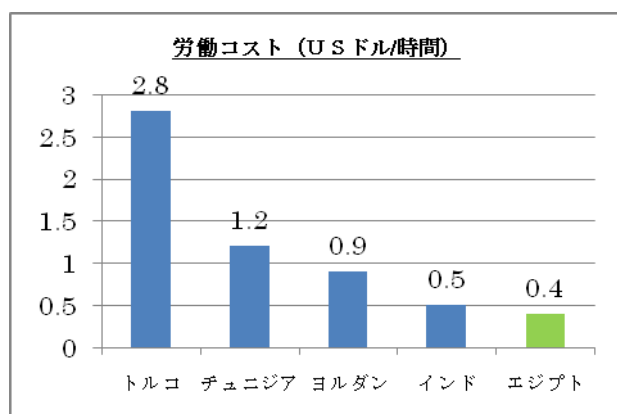
また、これまでコスト削減の追求を主眼としてきたグローバル企業のアウトソーシング戦略は、次第に人材能力にも目を向けるようになって来た。その結果、両面において評価が高いエジプトの存在感は急速に高まり、同国に進出する企業は後を絶たない。その中には米国の IBM や HP、インドのインフォシスやワイプロなど、グローバル優良企業が名を連ねる。

エジプトに注目するのは欧米やインドのグローバル企業だけではない。エジプトは湾岸協力会議 (GCC) 諸国の IT 企業のアウトソーシング需要も吸収している。エジプトの通信インフラの整備が進んだこともあり、サウジアラビアのサウジソフトやクウェートの ITS などが相次いでエジプトに開発センターを設置している。



資料：エジプト投資庁、エジプト投資・フリーゾーン庁

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。



資料：エジプト投資庁

アウトソーシング・ランキング表

2009年順位	2007年比	国名	2009年順位	2007年比	国名
1	0	インド	26	13	セネガル
2	0	中国	27	-4	アルゼンチン
3	0	マレーシア	28	7	カナダ
4	0	タイ	29	-9	アラブ首長国連邦
5	1	インドネシア	30	6	モロッコ
6	7	エジプト	31	11	英国
7	1	フィリピン	32	-16	チェコ
8	-1	チリ	33	4	ロシア
9	5	ヨルダン	34	6	ドイツ
10	9	ベトナム	35	-24	シンガポール
11	-1	メキシコ	36	-14	ウルグアイ
12	-7	ブラジル	37	-13	ハンガリー
13	-4	ブルガリア	38	-20	ポーランド
14	7	米国	39	-8	南アフリカ
15	12	ガーナ	40	-28	スロバキア
16	13	スリランカ	41	7	フランス
17	9	チュニジア	42	5	ウクライナ
18	-3	エストニア	43	-2	パナマ
19	14	ルーマニア	44	5	トルコ
20	10	パキスタン	45	-2	スペイン
21	7	リトアニア	46	-2	ニュージーランド
22	-5	ラトビア	47	-2	オーストラリア
23	11	コスタリカ	48	2	アイルランド
24	8	ジャマイカ	49	-11	イスラエル
25	0	モーリシャス	50	-4	ポルトガル

資料：AT カーニ

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。